



いわて車いすフレンズ通信

この活動は、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。



「いわて車いすフレンズ」をご存じですか？

「いわて車いすフレンズ」は、県内の工業高校生が中心となって、利用されなくなった県内の車いすを修理・整備し、アジア諸国などへプレゼントするボランティア活動で、平成15年度から取り組んでいます。

アジアの国々などでは、車いすを購入することができず、日常生活に困っている人たちがたくさんいます。その方たちに少しでも役立ちたいという思いを込めて修理活動に取り組んでいます。

おおむね次のような流れで実施しています



活動参加校・活動支援者のご紹介

【活動参加校】★印は令和5年度の活動実施校

No	活動参加校
1	★岩手県立盛岡工業高等学校
2	★岩手県立水沢工業高等学校
3	★岩手県立宮古商工高等学校
4	★岩手県立黒沢尻工業高等学校
5	★岩手県立久慈工業高等学校
6	★岩手県立千厩高等学校
7	岩手県立一関工業高等学校
8	岩手県立福岡工業高等学校
9	岩手県立釜石商工高等学校
10	岩手県立大船渡東高等学校

各学校の取組に対する支援を地元の社会福祉協議会が行っています。

【活動支援者】

- (公財) 日本社会福祉弘済会
全国の工業高校生たちによる車いす修理活動「空飛ぶ車いす」の支援団体。いわて車いすフレンズも空飛ぶ車いすの参加団体の一つです。
- (有) 東日本福祉機器商会盛岡営業所さま
例年開催している車いす整備技術講習会に修理技術の講師を派遣していただいています。

これまで、空飛ぶ車いすを応援する会、神奈川工科大学 KWR、(公財)岩手県国際交流協会、(株)日通航空盛岡航空支店、岩手県青年海外協力隊を育てる会、(株)メガネの松田、盛岡ユネスコ協会、(社福)韓国福祉財団、(独)国際協力機構(JICA)など、多くの企業団体の皆様に支えられてきました。ありがとうございます！

車いす整備技術講習会を開催しました



活動の一環で実施している、車いす整備技術講習会を、令和元年度以来、4年ぶりに盛岡市のふれあいランド岩手を会場にして開催しました。

県内の工業高校など生徒、教員27名が参加し、車いすの解体作業から車体のサビ取り、ノーパンクタイヤへの交換、ブレーキの調整などを行い、協力して車いす(9台)を整備しました。

生徒が整備した車いすは、(公財)日本社会福祉弘済会が取りまとめ、今後アジア諸国に贈られます。

学校ごとに1年間の活動を頑張りました！



今年度は、講習会の分も合わせ、**38台**の車いすの整備が完了し、整備実績は累計で **1,103台**となりました。ありがとうございました。

- ①活動日 ②参加生徒
- ③今年度修理台数 (R6.2.29現在)
- ④わが校の活動PR

- ★ 盛岡工業高等学校 ★
 - ① 毎週木曜日 12時45分から15時35分の授業時間
 - ② 3年生男子4名
 - ③ 今年度の整備完了車いす：2台
 - ④ 7月：いわて車いすフレンズ車いす整備技術講習会参加
10月：文化祭で車いす整備の様子を紹介
1月：課題研究発表会にて活動報告
活動をととしてボランティア活動に対する意識が高まりました。
また、車いすを安心して利用できるように、利用する方々の気持ちになって整備・修理活動を行いました。
技術講習会等で色々と学ぶことができ、ありがとうございました。



- ★ 宮古商工高等学校 ★
 - ① 毎週金曜日 12時40分から15時30分の授業時間
 - ② 3年生男子5名
 - ③ 今年度の整備完了車いす：3台
 - ④ 本校では、3年生の課題研究の授業で車いすの修理を行った。4月当初は、車いす修理についての技術が乏しく、インターネットで得た知識をもとに自己流で修理をしていた。しかし、7月に行われた「いわて車いすフレンズ」整備技術講習会に参加することにより、海外の状況や修理技術を学ぶことができ、帰校後は、より一層意欲的に取り組むようになりました。
課題研究では、車いすフレンズの活動内容を紹介するとともに、活動の重要性を訴え、達成感のある活動であったことを発表しました。



★ 久慈工業高等学校 ★

- ① 毎週金曜日 12 時 35 分から 15 時 25 分の授業時間
- ② 3 年生男子 4 名
- ③ 今年度の整備完了車いす : 2 台
- ④ 本校では、電子機械科の課題研究の授業で『いわて車いすフレンズ』の活動を行ってきました。生徒たちは自分たちの学んできた工業の知識や技術が世界の役に立つのではないかと考え、今年度の研究テーマに「車いすの修理」を選びました。

生徒たちの中には自転車を修理することができる者もいましたが、車いすに関してはほとんど知識がなく、初めて触れるような状態でした。そのため、車いす整備技術講習会に参加し、知識と技術を身に付けるところから活動を始めました。

講習会后、学校に戻ってから生徒たちで整備を行ってきましたが、試行錯誤の連続でした。「左右の片側のみ分解し、残りを見本にしなが組み立てよう」という決め事をしていましたが、徹底できず、部品を取り付ける順序がわからなくなってしまいました。

生徒たちで話し合い、問題解決のために、一日の作業の内容をノートに記入し、次回の活動時にどこから整備を始めれば良いか明確にすること・分解する前にその部分の写真撮影を行い、組立時にはその写真を参考にしながら行うことなど解決法を見つけながら作業を行うことができました。

分解や組立も失敗しながら何度も行ったことにより徐々に手際が良くなり、工具の使い方なども様になってきました。

結果的に 2 台の車いすを修理・整備することが

き、発送することができました。時間的に余裕があれば、久慈地区の老人ホーム・病院等を回り、修理の必要な車いすを修理するなどの案もありましたが、時間が足りず、地域への貢献ができなかったのが心残りです。



★ 黒沢尻工業高等学校 ★

- ① 毎週月・木曜日 16 時から 17 時の部活動時間
- ② 2 年生・3 年生男子 11 名
- ③ 今年度の整備完了車いす : 8 台
- ④ 今年度は新入部員が 0 ということで、2,3 年生の活動となりましたが、例年並の車いす台数を整備することができました。

コロナの制限が 5 月には解除されましたが、福祉施設等への訪問は見送りました。しかし、車いす整備技術講習会や地域の清掃活動に積極的に参加しました。

来年度は、新入部員が入部するように宣伝活動をして、さらにボランティア活動を活発化していきたいです。



コラム

岩手県からの使用済切手の寄付は、全国の約 90% を占める！

(日本社会福祉弘済会調べ)

☆車いす 1 台の国内輸送費→高校から倉庫まで 1,500 円/高校から空港まで 5,500 円

☆切手→1 kg 当たり約 500 円に換金

☆はがき→1 枚当たり 10 円の手数料を払い、切手に交換

車いす 1 台は、使用済切手約 3 kg で倉庫まで、書き損じはがき約 100 枚で空港まで届きます！！



この通信は、「いわて車いすフレンズ」専用ホームページ (<http://www.iwate-shakyo.or.jp/friends/index.html>) で公開しており、ご自由にダウンロード可能です。
整備車いすを届けられた海外からのレポートや、使用済切手と書き損じはがきの寄付者名も公開中です。

★ 水沢工業高等学校 ★

- ① 毎週金曜日 12 時 40 分から 15 時 30 分の授業時間
- ② 3 年生男子 4 名
- ③ 今年度の整備完了車いす : 11 台
- ④ 本校では、機械科 3 年生の課題研究の一環として車いすの整備、いわて車いすフレンズの活動に取り組んでいます。7 月には県内の高校生を対象とした車いすの整備技術講習会にも参加し、技能の習得に励みました。奥州市社会福祉協議会とも連携をとっており、9 月に行われた「ボランティア交流 IN みずさわ」にも参加させていただき、そちらでも車いすの修理を行いました。また、近隣の小学校からの依頼で修理も行いました。活動の様子は胆江日日新聞にも掲載されました。

1 月下旬には行内で課題研究発表会があり、以上の成果を発表しました。



使用済切手と
書き損じはがきの
収集ボランティア

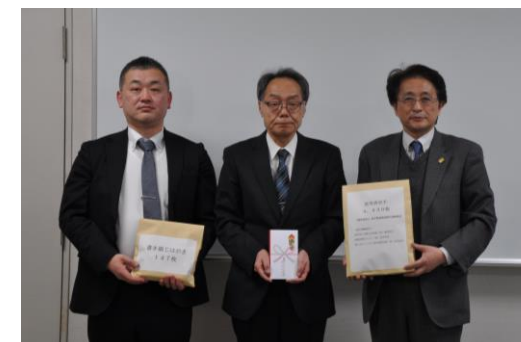
整備された車いすは、海外へ運ぶ前にいったん倉庫（茨城県）に保管され、空港に運ばれます。そのため、高校から倉庫などまでの「国内輸送費」が必要です。使用済切手や書き損じはがきを換金し、国内輸送費用の一部に充てています。

今年度は、令和 6 年 2 月末日時点で累計 117 団体、19 個人 に協力いただきました。ありがとうございます。

寄贈者名は、「ずっぱりボランティアいわて」のホームページに掲載しています。



▲ 岩手銀行労働組合さま
(R5.7.21)
使用済切手 3,300g



▲ (一社) 岩手県損害保険
代理業協会さま (R6.3.11)
使用済切手 4,930 枚
書き損じはがき 147 枚

ありがとう!

現在、プリペイド
カード収集は行って
いません。

今後も、修理・整備した車いすを使用する方の気持ちを考え、最後まで気を引き締めて活動に取り組んでいきましょう！！